

## 令和5年度第2学年探究学習 国内(仙台)フィールドワーク報告書

### (概要)

第2学年探究学習委員による国内フィールドワークを実施しました。東日本大震災・原子力災害伝承館における研修や、仙台市内の事業所訪問を実施し、探究活動に必要な取材等を行うことができました。また、宮城県の高校生(仙台二華高校生)と探究学習の交流会を実施しました。昨年度、コロナ禍において制限されていた校外での探究活動を再開することができ、今回2度目の国内(仙台)フィールドワークになりましたが、生徒たちにとっては、大変有意義な3日間となりました。年度末の探究学習発表会に向け、研究内容の更なる深化を期待します。

### 1 目的

- (1) 事業所訪問をとおして、研究に関わる資料や情報の収集を行うとともに、コミュニケーション能力を伸ばす。
- (2) 他校生との交流をとおして、探究学習における研究の方向性を見直す契機とする。

### 2 期日

令和5年8月16日(水)～18日(金) 2泊3日

### 3 事業所

東日本大震災・原子力災害伝承館、宮城県内の各事業所、宮城県仙台二華高等学校

### 4 参加 第2学年探究学習委員 14名

### 5 行程

8月16日(水)	7:20 学校発 10:30 東日本大震災・原子力災害伝承館着 10:30 被災地フィールドワーク 13:00 伝承館展示見学・講話・ワークショップ 18:00 ホテル着
8月17日(木)	9:00 ホテル発 ※各グループごとに事業所を訪問 17:00 ホテル帰着
8月18日(金)	8:40 ホテル発 9:30 宮城県仙台二華高等学校着 10:00 探究学習生徒交流会 14:00 ホテル発 18:30 学校着

## 6 内 容

(第1日目) 8月16日(水)

朝7時20分に学校へ集合し、借り上げバスで東日本大震災・原子力災害伝承館に向かった。10時30分に伝承館に到着し、先ずは一日の研修について説明を受けた。その後、バスで双葉町と浪江町の街並みを見ながら原子力災害の被害について、同乗したガイドさんから詳しい話をうかがった。午後の伝承館の展示見学では、原子力災害の被害の悲惨さや様々な苦労について、実物等の様々な資料を通して身近に感じられる体験をした。語り部講師の方のお話では、原子力災害の悲惨さや様々な苦労について、また、災害を自分事として考えることの大切さについて学ぶことが出来た。最後のワークショップでは、一日の研修の振り返りをする事ができ、原子力災害を自分事として考え、みんなと共有することができた。

(第2日目) 8月17日(木)

各班がそれぞれのテーマに関連した事業所を訪問した。そこで、新しい知識を身につけたり自分たちの探究のアイディアに関してアドバイスをいただいたりした。

一例として私の班はまちづくりがテーマなので、泉パークタウンのまちづくりの計画・実行をしている三菱地所と社会資本整備と国土・地域計画を取りまく社会制度とガバナンスのあり方について研究しておられる東北大学の福本准教授にお話を伺った。三菱地所では私たちが提案したいと考えているアイディアと似たような計画をもとに泉パークタウンの開発をされていて、開発について、実際に泉パークタウンを見学させていただきながら、計画から実行までにかかる年月や、お金、うまくいっている点と課題となってしまう点など多くのお話を伺うことができた。また、福本先生からは、廃れてしまった街をその後どういうふうに立て直していくのかとか、まちづくりの基本的なことを学ぶことができた。

今回生徒たちがお世話になった事業所は以下のとおりである。

名取市役所政策企画課公園係、三菱地所東北支店、東北大学工学部建築・社会環境工学科都市計画コース、東北大学工学部建築・社会環境工学科、JR東日本東北総合サービス(株)、仙台市役所交流企画課、仙台大学体育学科、東北医科薬科大学薬学部分子認識学教室、
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(第3日目) 8月18日(金)

昨年に引き続き、仙台駅近くにある伝統校、仙台二華高校に訪問し、互いの探究活動に関するプレゼンと意見交換を行なった。

はじめに両校の学校紹介を行い、それぞれの学校の特色について理解できた。

次に本校生6グループのプレゼンテーションを行なった。プレゼンには、17日に行なった仙台での事業所訪問の成果も盛り込まれ、軌道修正の必要性についても言及するなど、中間発表ながらこれからの進化が楽しみなものであった。仙台二華高校生は1グループにつき4~5人の生徒が質問をしてくれた。かなり鋭い質問もあったが、本校生はどの質問にも冷静・丁寧に答えようとしていた。

時間がおしてしまい、仙台二華高校生からのプレゼンは4つのブースに別れてのプレゼンとなった。水問題をテーマに、8月初めに訪問したカンボジアへのフィールドワークに関する興味深い内容だった。

他県の高校生との交流は、大きな刺激にもなり、非常に有意義なものであった。

## 7 参加した生徒の感想

(1) 東日本大震災や原子力災害にかかわる震災遺構を見学して考えたことや、防災・減災対策に対する問題点などの意見

・今回東日本大震災・原子力災害伝承館に行ってみて、東日本大震災というものを身近に感じることが出来ました。実際の双葉町を車窓から眺めて本当に11年前から時間が止まっているように感じました。取り壊されている家屋や新しい店はあるにしても、町全体の雰囲気として震災から変わっていないように思えました。伝承館でのお話では避難の大変さや原子力発電所の当時の状況など映像や物を見て私たちがニュースで見てきたことよりも多くの苦労があり今もそれが続いているのだと実感しました。これから、今日の経験を生かし震災や災害を他人事として見ないよう心がけていきたいです。

・私は東日本大震災が起こってから、原子力発電はこれからも活用していくべきなのか、それとも撤廃するべきなのかという二元論に囚われていました。しかし今日、語り部の「簡単に廃止して残された自治体はどうなるのか。原発の存廃を議論している場合ではない」という言葉を聞いてハッとした気持ちになりました。また、東日本大震災を後世に伝えていこうと立ち上がり、復興に動いていく人々の姿も印象的でした。この訪問を通して、被災という辛い過去に囚われ過ぎるのではなく、被災地のこの先の未来を見つめ、「創生」していくことが重要だと感じ、これからは私も自分事として、被災地の未来の発展を考えていきたいと思いました。

・東日本大震災は大きな震災だったが、それと同時に潜在していた社会問題が一挙に顕在化した出来事でもあった。そんなことをガイダンスの時に聞いたときは、そのような視点を持っていなかったこともあって、あまりピンと来ていませんでした。しかし、フィールドワークとして街を回って復興の難しさを感じたり、展示についての説明を受けて自分の無知さを自覚したり、語り部の方のお話を聞いたりして問題の複雑さを知ったりして、震災が様々な問題をあらわにしたという側面を理解出来たと思います。震災のこと、復興のことを、他人事としてではなく自分事として捉えてしっかりと向き合っていく必要性をひしひしと感じた機会でした。

(2) 事業所訪問を実施した結果や感想

・北釜防災公園とその整備を行っている名取市役所都市計画課を訪問した。名取市役所では、防災公園整備に至る経緯や費用についてのお話を伺った。また公園の位置も重要であり、遊具だけでなくどこに設置するかを地理的な条件などを踏まえ考慮する必要があるとわかった。さらに質疑応答の際、役所の方から私達の探究についての質問をいただき、防災遊具の話をしたところ、私達のアイデアにアドバイスをくださった上、非常に興味深いと言っていただき自信に繋がった。今後の活動についてのアドバイスもいただき、大変勉強になった。名取市役所で得た事前情報を踏まえ足を運んだ北釜防災公園では、防災家具であるかまどベンチを実際に見た。使うことはできなかったが、名取市役所で頂いた使い方の説明書を見て、自分たちが遊具を考える際の参考になった。

・東北大学で都市マネジメント学・計画制度学を研究している姥浦教授の研究室とJR東日本東北総合サービス株式会社LiViTを訪問させていただいた。姥浦研究室では、教授の研究内容を細かく聞かせて頂いた後自分たちの研究している内容を聞いてもらいアドバイスや質問をもらった。今まで考えたことのないプライバシーとの兼ね合いの問題やデジタルサイネージを使うことの意義など興味深い話を伺うことができた。また、LiViTでは駅構内での実際の状況やその対応現在起こっている問題などを直接伺うことができた。また、質疑応答の際に誰を、どんな人を対象にするのかをもっと

明確にすることで使う機器の選択やシステムにつける仕組みも変わってくるので、一部の人に焦点を当ててより多角的に捉えながら今後の研究も進めていきたい。

- ・午前中は三菱地所 東北支店を訪問した。一旦支社内で泉パークタウンの概要の説明をしていただいた。今新しく開発中のエリアでは立地が悪い分LINEを活用したクーポンや顔認証などについてを取り入れる予定だと聞いて驚いた。実際にそのあとは車で泉パークタウン内を見学した。敷地内はいろいろな施設が用意されており、見ていて統一されている様子があった。パーク内では住んでいる人自身が自分はパークにすんでいるんだという意識が強く積極的にボランティア活動（草刈りなど）に取り組む人が多いようでこれはこのような住宅街でしか実施できないなと感じた。

午後は東北大学の福本教授の元を訪問した。そこでは私たちの考えている持続可能な街づくりの案を提案し、実際に行われている案を伺った。専門的な資料を教えていただいたり、時代によって土地の重要性は異なることなどを伺い得心した。これらの意見を取り入れて、自分たちの案をまとめていきたい。

（3）仙台二華高校の生徒と探究学習の交流を行って考えたこと。

- ・違う地域で同じ活動を行っている高校を訪問することができ、やる気につながる良い経験になった。また、真剣に聞いてくださり的確な質問をしていただいたことで、各自自分達の探究テーマを振り返り再検討を進められた。二華高校の方が課題研究している水問題もとても興味深く面白かった。私たちの班ではスライドのわかりにくさや発表で不明点が多いままだったので、いただいた質問をもとに今後のスライド作りや発表原稿に生かしていきたい。先生の助言もあり、連絡先を交換したりする事ができ交友関係が広げられた。

- ・仙台二華高校の生徒はプレゼンに対してたくさん質問していたり、誰かが話している時に積極的にリアクションしたりする姿勢が印象的だった。ただプレゼンを聞くだけでなく自分で考えて意見を述べたり、わからなかったところは質問したり友達と互いに教えあったりすることは二華高生を見習い、前向きでさらに有意義なプレゼン発表の場を作れるようにしていきたい。また、質問に対して要点をわかりやすく返答できるように質問の意図を理解して簡潔に述べられるようになりたい。

- ・同じような活動を行う仲間として、興味や意欲を掻き立てる良い場だったと感じた。特に、疑問点に対し一つ一つを深くまで掘り下げて議論できたことが印象に残った。また、仙台二華高校の生徒の、話題や論の進め方が今後の参考になるものばかりで、とても勉強になった。今回、質疑応答の内容が濃かった分、的確な返答ができなかったり、フリートークのような時間ができてしまったりと、反省点も浮かび上がる結果となったため、これを活かして次回からのプレゼンに繋げていきたい。さらに、今回二華高校の生徒に提案してもらった案や新たな視点をもとに、これからの探究をより良いものにしていきたい。

（4）仙台FWに参加して、学んだことや考えたこと、今後の探究学習にどのように生かしていくか、次年度以降の改善点など。

- ・仙台FWに参加し、事業所訪問で提示いただいた、探究内容や進め方についてのアドバイスを生かして、私達のグループは探究内容の方向性を変更した。その結果、より現実的で自分たちの色を出せる方向に進むことになった。同時に、ゴールへの道筋が明確になってきたと感じ、今後の支えになる貴重なFWであったと私は考える。そして、今回改めて災害の恐ろしさや避難所での生活の過酷さを学ぶことで、私達が探究しているテーマの意義を再確認することもできた。今回のFWでの経験を今後の探究学習の充実や志の面などにおいて最大限生かしていきたい。

- ・仙台FWで自分たちの探究に直結する事業所訪問を行い、お話を伺ったことで探究内容に関する理解をより深めることができ、探究の今後の進め方がより明確になった。しかし3日目の仙台

二華高校との交流会でのプレゼンで、的確な答えをすることができない質問がいくつかあり、自分たちの調査不足を実感するなどの反省点もあった。今回のFWでは仙台に行くことでしかできない学びが多くあり、この経験は今後探究を進める上で重要なものになると感じた。このFWで得たものをこれからの探究活動にしっかりと反映し、より濃い内容のものにできるようにしていきたい。

・仙台FWでの三日間を通し、すごく充実した活動内容だったと感じた。まず、一日目の東日本大震災・原子力災害伝承館でのフィールドワークでは、起こった震災や原発事故をいかにして次やその先の世代に伝えていくことが大事だと感じられた。また二日目の事業所訪問や三日目の仙台二華高校との意見交流で、自分たちの探究活動に参考になることが多く、これからどのように調べていくか、研究の先立てに役立った。今回の経験をふまえ、自分たちが調べている研究に活かしていきたいと思う。

## 8 国内フィールドワークの様子

(第1日目 伝承館研修)

		
被災地フィールドワーク①	被災地フィールドワーク②	伝承館展示見学
		
講話の様子	ワークショップの様子	伝承館全景

(第2日目 事業所訪問)

		
仙台駅の説明を受ける	東北大学福本先生との記念撮影	東北医科薬科大学での説明と実験



名取市役所前にて

(第3日目 仙台二華高校との交流会)

<p>一高生の発表①</p>	<p>一高生の発表②</p>	<p>一高生の発表③</p>
<p>二華高生の発表①</p>	<p>二華高生の発表②</p>	<p>みんなで記念撮影</p>